

わたしの生きがい、紹介します  
vol.23  
**いきいき**  
**スマイルライフ**  
教師と落語家の二刀流  
**好文亭梅朝 さん**

アマチュア落語家「好文亭梅朝」として活動している佐藤弘道さん(牛久市在住)は現役の小学校教諭。ひとたび高座に上がると、親しみのある語り口で

会場の観客を楽しませる。演劇やお笑いが大好きで、落語にも興味を持っていた子供時代。特に、監督から主演まで器用にこなす英国出身の喜劇俳優「チャップリン」に魅了されていた。落語も同じで身振り手振りを用いて、一人で何役もこなす。落語を大勢の観客の前で初めて披露したのは高校時代の文化祭。観客の反応が良く、会場が笑いに包まれた。大学4年の文化祭には立川談志師匠が招かれ、師匠の前座を任されることに。「あのまま弟子入りしていたらプロになっていたのかも」と笑顔で話す。

美浦村の社会教育主事として生涯学習に携わっていた経験を生かして、牛久、土浦、龍ヶ崎をまわって、縁あって三遊亭圓窓師匠の指導を受けるようになった。これまで自己流で続けてきた落語は、プロの手ほどきによってさらに言葉の大切さを知り、上達していく。今では土日に



**子どものころから「お笑い」が大好き**  
**笑いを通じて地域や子どもたちを笑顔にしたい**

で開かれる寄席を精力的に続け、50人だった観客が100人以上に集まることも。「落語は、監督、俳優、演出をすべて一人でこなします。物語を一字一句覚えるわけではないので、工夫して自分なりに物語をアレンジするところがおもしろい。アレンジ次第では、断の面白さは落語家によって変わるといっていい。方々や仕事で「誰を演じているのか」想像を膨らませる聞き手の力も必要となる。落語の世界では扇子は「風」、手ぬぐいは「曼茶羅」と呼ばれ、ある時は箸や刀に、ある時は手紙やお財布などさまざまなものに変身させる。登場人物や道具を上手に使い分けながら情景を

描くことで聞き手の想像が膨らみ、一人ひとりが自由に楽しむことができる。子どもたちに落語の楽しさを伝えていきたいとの思いも強い。「子どもたちは落語を知らなくても一人でも役も演じていることがおもしろいのか、喜んで耳を傾けています。寿限無を覚えるなんておもしろいです。授業やクラブを通じて落語の楽しさを教えています」。落語は「落とし断」と呼ばれ、断の最後は「オチ」で締めくくります。「オチにはすぐに分かる洒落から、ちょっと考えさせるものまでいろいろな形がありますが、想像力を駆り立ててぜひ落語を楽しんでほしい」と話す。

<b>牛久味わい亭 第27回落語会</b>	<b>牛久亭 発表会</b>
日時 9月23日(月・祝) 午後1時45分開演	日時 10月12日(土) 午後1時30分開演
場所 牛久市中央生涯学習センター	場所 牛久市総合福祉センター
出演 好文亭梅朝、有難亭良慈緒、牛久亭空女、牛久亭高那 他	出演 好文亭梅朝、三遊亭圓窓師匠 他
牛久味わい亭 ☎090-4757-4414(望月さん)	牛久亭一門会 ☎080-1148-5784(佐藤さん)



ます。布と剣が入った「お守り」をいただけるのですが、中に入っている布の柄が青色系だと女の子、赤やピンク色系だと女の子、赤やピンク色系だと女の子が授かると言い伝えられています。そして無事に出産を終えたら、自ら剣や布の切れ端を用意し、お札を兼ねて奉納します。以前は地元の方たちが管理されていましたが、ご縁があり、今ではお不動様の管理と運営を私に任せてくれています。お不動様が元気になるれば、御利益を分けてくれると信じ、毎日休むことなく、護摩を焚いています。護摩の目的は煩悩を清め、ご利益をいただくことにあります。炉に木を組んで火を焚き、

その中に五穀、お米、ゴマ油などを入れ、お経を唱えながら炎の中に火天様(火の神様)を呼び込み、祈願成就を念じます。木は煩悩を、炎は仏様の知恵を表し、神様の口である炉にお供え物をくへると煙となって、私たちの願いが全宇宙へと運ばれていくのです。炎や煙は上へ上へと上昇していくもので、高いところにいる神様、仏様に届くよう火をもって拝みます。

まいいます。悩んだり、過ぎた事を後悔してもしかたがありません。そんな時は、ニコニコ笑っています。悩んでいるから笑えないのではなく、楽しくなるようなことを考えないから笑えないのです。笑うから良いことがあるのだと思います。「来年の話をすると鬼が笑う」と言いますが、鬼も笑わせてしまおうくらいの気持ちです。あれこれ考えても始まりません。笑顔の効果は絶大です。笑ってあげれば運が開き、幸せをもたらしてくれます。ニコニコ笑顔で過ごし、豊かな人生を送りたいものです。

**可憐な生花でお送りいたします**  
充実した施設、安心費用の公営斎場葬が大好評です！  
土浦市営斎場 つくばメモリアル 牛久あみ斎場 石岡地方斎場

お花とお料理に  
こだわった葬儀社です

お花・お料理・返礼品等の費用(必要の都度ご注文いただけます)

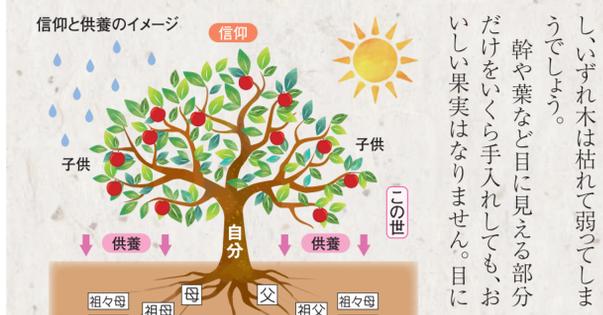
ひまわりくらぶ 葬儀

生前ご相談受付中 安置室完備

総合葬祭/合同会社 **ひまわりくらぶ**  
もしもの時は、24時間、365日いつでも！  
☎0120-255-668

もしもの搬送依頼(お問い合わせもお気軽に)

3月の「春分の日」と9月の「秋分の日」は、太陽が真東から昇って真西に沈み、昼夜の長さがほぼ同じになります。真西の方向には、阿弥陀如来が住む西方極楽浄土という世界があり、亡くなった人は極楽浄土を目指して西へ進むと言われてます。彼岸を「日願」と書くように、お彼岸は「先祖様に「極楽浄土にたどり着けるよう」西の方向にどうぞお進みください」と願う日、この時期に先祖供養をするようになりまして。



の恵みがお不動様や観音様のよきな神仏という「信仰」です。植物の多くは養分が十分あれば根はしっかりと伸び、幹も大きく育つて、実をつけます。逆に、根(ご先祖様)がしっかりと伸びないと、幹(自分)や葉(果実)が元気に育ちません。ご先祖様(ご孫)も元気に育ち、いざれ木は枯れて弱ってしまわなければなりません。ご先祖様の中で二人でも欠けていたら今の自分は存在しませんが、受け継がれてきた命を大切に、ご先祖様を大事にしている家は栄えます。ご先祖様や親の悪口を言うこと、ご先祖様の感謝の気持ちとともにお盆やお彼岸にお墓参りをしたり、毎日仏壇に手を合わせたことが先祖供養です。先祖供養は一番の開運法だと私は思います。

普段は簾が掛かっています。が、年に一度、初不動と言われる1月28日にだけ御開帳されます。小田不動尊は安産子授けの御利益があるとされ、その日は多くの妊婦さんやご家族が訪れ

秋のお彼岸  
ご先祖様へ感謝の気持ちを込めて  
お彼岸はご先祖様とご縁を結ぶ日。  
ご先祖様を敬い、感謝の気持ちを捧げましょう。

つくば市小田 不染院  
幕内法忍 ☎029(845)7111

やすらぎのお墓づくりをお手伝い  
お墓の改修・リフォーム承ります！  
お電話いただければ送迎いたします

国内・外国産 輸入製造販売 (株)佐藤石材店 ☎029-889-0145

感謝の気持ちを持って  
先祖供養は一番の開運法

9月20日から26日は秋のお彼岸。ご先祖様を敬い、偲ぶこの機会に、小田不動尊の堂守を務める幕内法忍さんにご先祖様に対する思いや、日々の心のあり方について話を伺いました。

見えない土の中ほど気を配らなければならぬのです。根は土から養分や水分を吸収して、木全体が倒れないように支える役目も担っています。こうして、命がずっとつながっていきま。供養とはご先祖様のためのもので、結局自分のため、子どものためとなって返ってくるのです。

燃え盛る炎に  
願いを込めて

つくば市北東部に  
ある宝篋山(別名:小田山)にはいくつかの  
特徴的なハイキング  
コースがあるので、気  
軽に登れる山として  
連休などには多くの  
人が訪れます。豊かな

お彼岸はご先祖様とご縁を結ぶ日。  
ご先祖様を敬い、感謝の気持ちを捧げましょう。

お彼岸はご先祖様とご縁を結ぶ日。  
ご先祖様を敬い、感謝の気持ちを捧げましょう。

御仏壇  
日本の銘木で作る手作りの  
御仏壇

製造販売  
おわりや  
尾張屋  
創業 昭和6年

土浦市中央1-11-1(駐車場あり)  
9:00~19:30(水曜定休)  
☎0120-300-629  
☎029-823-0527